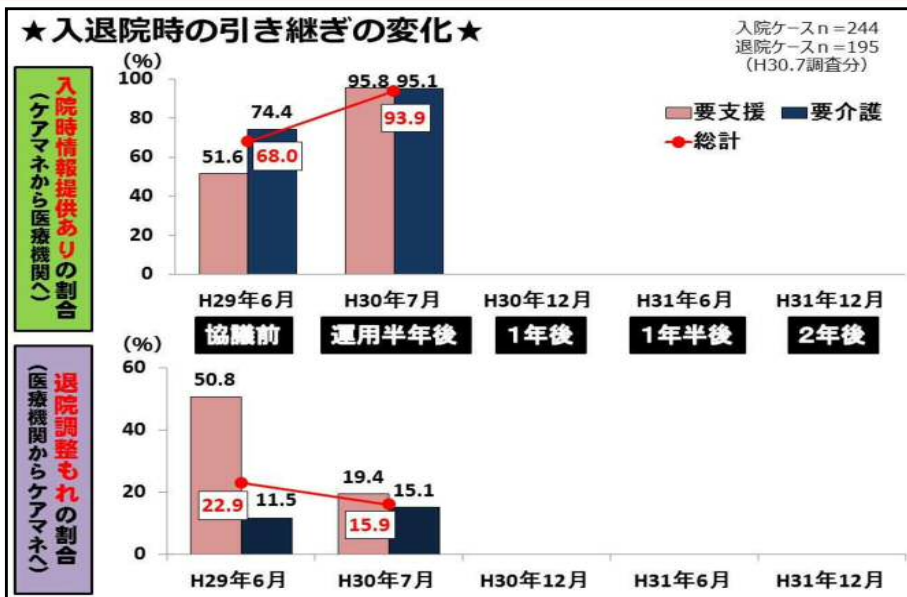


退院調整ルール運用開始後 第1回メンテナンス協議の開催結果について

*平成30年4月に運用開始した「南薩保健医療圏域退院調整ルール」の運用状況を点検し、改善点を検討するため、メンテナンス協議を開催しました。

	第1回介護支援専門員による協議		第1回医療・介護合同会議
	南薩西部3市	指宿市	
日時	H30.9.25(火)14時～16時	H30.9.26(水)14時～16時	H30.10.16(火)14時～16時
場所	南九州市市民交流センター ひまわり館	山川文化ホール	南九州市市民交流センター ひまわり館
参加者	50名 (南薩西部3市内の居宅介護支援事業所, 小規模多機能型居宅介護の各事業所代表者1名)	21名 (南薩西部3市内の居宅介護支援事業所, 小規模多機能型居宅介護の各事業所代表者1名)	58名 ・南薩圏域内各医療機関の代表者1名 ・介護支援専門員代表者7名
内容	(1)運用後の効果 (2)運用後の課題 (3)効果的な運用に向けて		(1)運用後の効果 (2)今後の効果的な運用に向けて

1. ルールの運用開始後、入退院時の引き継ぎ状況が改善されていることを共有しました！



◎入院時（ケアマネ→医療機関）への引き継ぎ率は **25.9%** 上がりました。

◎退院前（医療機関→ケアマネ）への繋ぎ漏れ率は **7.0%** 下がりました。

2. 入退院時の引き継ぎ状況が改善した結果、こんな効果がありました！

介護側の意見	医療側の意見
<ul style="list-style-type: none"> ●シートで基本情報を繋ぎ、補足情報を伝えやすい ●Nsに限らず、Dr, PT, OT等とも連携が図りやすくなった ●退院の連絡が事前にあったので、早めにサービスにつなげることができた ●カンファに参加したことで、本人・家族・医療機関と密に関わることができ、信頼関係を深められた ●ケアプラン作成に反映できた ●サービス担当者会議でも有効に活用できた 	<ul style="list-style-type: none"> ●やりとりがスムーズになった ●入院直後から退院後の生活を見据えた支援ができるようになった ●本人や家族の状況を把握しやすくなり、院内連携の向上や本人・家族の安心感へつなげることができた ●病棟の担当看護師が、在宅での視点や目標、支援について学ぶ機会になっている ●ケアマネからの情報により在院日数を短縮できた事例や疾病の早期発見につながった事例もあった

3. 更なる連携強化に向けて、こんな課題が出されました！

介護側の意見	医療側の意見
<ul style="list-style-type: none"> ◆入退院，転院時の早めの連絡（医療機関から連絡がないと把握することができない） ◆退院前情報共有シートは，家族に渡さず，ケアマネへ（家族に渡した場合は，ケアマネにも要連絡） ◆本人や家族へ地道に周知を継続 ◆カンファの調整には予備日があると調整しやすい ◆できれば医療機関でもシートを活用してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆入院が前もって決まっている場合は，入院前にシートの提供があると良い ◆「シートをFAX」で終わらず，コミュニケーションを図る ◆院内の多職種で共有し，院内連携を強化 ◆転院時は，医療機関間連携が必要 ◆退院後の状況も知りたい ◆介護保険制度や診療報酬の勉強不足

これらの課題の他に「シートの自由記載欄（特記事項等）の有効活用」に関する意見や「効果的なカンファレンスのあり方」に関する意見等もありました



4. 事業参加医療機関が1か所増えました！

事業参加医療機関は，平成30年10月末現在 **47か所** となりました！

【枕崎市】

ウエルフェア九州病院、尾辻病院、小原病院、久木田整形外科病院、サザン・リージョン病院、立神リハビリテーション温泉病院、枕崎市立病院

【指宿市】

今林整形外科病院、赤崎病院、伊藤記念病院、指宿浩然会病院、指宿さがら病院、指宿竹元病院、指宿医療センター、西田病院、宮園病院、山川病院、生駒外科医院、指宿脳神経外科、上村内科クリニック、開間クリニック、木之下クリニック、橋口医院、肥後内科クリニック、福元医院

【南さつま市】

阿多病院、有馬病院、加世田病院、県立薩南病院、真愛病院、南さつま市立坊津病院、南さつま中央病院、アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町、小山クリニック、徳久整形外科、友松内科クリニック、宮内クリニック、唐仁原内科クリニック

【南九州市】

川辺生協病院、菊野病院、こだま病院、中村温泉病院、南薩ケアほすびたる、南九州さくら病院、笹川医院、東外科胃腸科医院、青木医院



5. これからも，メンテナンス協議を続けていきましょう！



会議の参加者からは、

他の医療機関（事業所）の現状を聞くことができて良かったです

自施設の課題が見えてきました

1人でも多くの方が在宅生活を継続できるよう多職種と連携して支援していきたい

等の感想がありました。

どんなルールでもメンテナンスを行わず運用していると，忘れ去られてしまいます。
また，どんな課題も一気に改善することはありません。これからも粘り強く，定期的なメンテナンスを続けていきましょう。